

あおぞら21



議席及び委員会構成の変更(8月会議)	2
令和元年度 議会報告会開催	3

表紙：木倉校区の敬老会にて「ひよっとこ踊り」の後、肩もみする小学生(9月15日)

8月定例会
令和元年9月30日
No.144
熊本・みふね町議会

議席及び委員会構成の変更

8月会議を8月5日に開催し、藤川議員繰り上げ当選後の所属委員会等について決定した。

議席番号	氏名	所属委員会
11	藤川 博和	産業厚生常任委員会 議会広報編集特別委員会 地方創生調査特別委員会 災害復興支援特別委員会

委員会報告

町民にわかりやすく、興味を持ってもらえる総合計画を

総務文教常任委員会 委員長 清水 聖

8月5日（月）の委員会では、各課から提出された所管事務調査を基に、10月以降、各課に対しヒアリングを行うことが決定した。また、企画財政課企画係から総合計画の基本構想・基本計画の事前説明を受け、今後の御船町の在り方について議論を交わした。現在、熊本地震による復旧期

の最終年度となり、大型の企業誘致が決まるなど町は転換期にある。町の最上位計画である総合計画をはじめ、様々な計画が進んでいるなかで、より具体的に、町民にわかりやすく、興味を持ってもらえるような計画にする必要があり、今後も執行部との協議を続けていく。議員全員研修の

研修先についても意見を交わし、研修先の候補として、企業誘致後のまちづくりを行っている地域や、防災対策について学べる地域などがあがった。各課へのヒアリングや研修を今後の町の予算や計画に盛り込めるようにしたい。

委員会報告

「所管事務調査」を開始 ～山積する業務と課題～

産業厚生常任委員会 委員長 岩永宏介

9月6日（金）、福祉課、農業振興課、建設課の3課から、令和元年度に取組む主な業務における、課題と進捗状況について聞き取りを行った。
◎福祉課は、中山間地域等創生による地域包括ケア推進事業として、通いの場づくりに取組み、今年7月10日に「人生百歳クラブ」（田代西部地区）を発足させ、月1回開催

を目標にしている。また、地域密着型介護施設の事業者選定事業に取組む。
◎農業振興課は、農地等災害復旧事業の平成28年災害における工事が4年目に入るが、200件近くの工事を残す。また、地籍調査事業では、熊本地震の影響で座標値の補正作業が新たに加わり、事業はさらに長期化し、令和2年度内

の座標値補正完了を目指す。
◎建設課は、災害復旧事業の①宅地耐震化事業（大規模盛土）個別宅地復旧64件、路面復旧4地区、②宅地耐震化事業（拡充）19件を始めとして、九州横断自動車道工事用道路用地取得事業、さらには、危険ブロック塀除去及び新設事業に取組む。

令和元年度 議会報告会開催

毎年開催している議会報告を7月27日に開催した。場所は、役場第二分庁舎大会議室と上野保育園の2ヶ所。参加者は合計71人であった。

議会報告での質問や答弁、その後の執行部回答については以下のとおり。

■ 議会報告会（第二分庁舎 大会議室） A班（参加者31人）



Q1 震災を機に、中山間地域の人口減少、高齢化が一段と深刻になり、集落の機能が危ぶまれている。農地の震災復旧事業は、本年度までと聞いているが、町内で未着手はどの程度あるのか。件数、予想金額はどれくらいか。

議会回答

執行部から回答。

執行部回答（農業振興課）

過去3年間の災害復旧事業において、今年度に繰り越されている事業は250件ある。事業費については予算ベースで6億6,089万1千円となっている。

令和元年8月末現在での状況は、完了が250件のうち61件完了しており、残り189件、予想金額としては約5億円となっている。

Q2 復興計画はどの程度進んでいるか。校区ごとの人口の移動状況、今後5～6年間に自然減少も含めてどの程度減少が予想されるか。

議会回答

執行部から回答。

執行部回答（企画財政課）

町の策定している復興計画は、平成28年から令和5年までの8年計画で、75の事業（町HPで公表済み）で構成している。

75事業のうち、すでに完了したものは30事業、計画どおり進捗しているものが33事業、課題はあるが前進しているものが12事業となっている。

また、御船町の人口は6月末現在で16,931人となっている。国立社会保障人口問題研究所の推計によると、5年後の2025年に16,168人、10年後の2030年には15,490人になると予想されている。なお、校区ごとの内訳はデータはない。

Q3 震災があり、中山間地域の農家は意欲を失っている。生産基盤である田畑の復旧工事の遅れと、加えて投資効果が見通せず営農に不安をもっている。

議会回答

執行部から回答。

執行部回答（農業振興課）

被災した中山間地域での圃（ほ）場における作付け推進を図るため、国の経営所得安定対策交付金事業の産地交付金の対象作物（重点振興作物：22,000円/10a）として4品目（ほうれん草、菜花、小松菜、菊芋）を設定し、営農意欲の低下の軽減に努めている。

また、国、県、市場、JA等関係機関と連携し、中山間地域に適した水稻に変わる作物導入を模索・検討している。

Q4 イノシシ、サル、シカ、アナグマ類等鳥獣被害が著しく、住宅周辺にまで及んでいる。何らかの対策をお願いする。

議会回答

執行部から回答。



執行部回答（農業振興課）

住宅周辺における鳥獣被害対策としては、警察、県、総務課地域・防災係、農業振興課及び地域や教育機関との情報共有を図り、対応している。

農地における鳥獣被害等の対策は、6月議会において報告している。

国庫補助事業は、現在までは電気柵のみの補助だったが、今年度が御船・山都鳥獣被害広域防止計画の見直しの時期のため、令和2年度からワイヤーメッシュについても補助の対象となるよう計画を策定し、鳥獣被害の軽減に努める。

また、国庫補助事業の対象とならない農業者を支援する町の単独事業についても、既存の電気柵等の設置に対する支援における制度及び補助率を拡充し、今年度は100万円の予算を設けている。

いままでは、電気柵のみだったが、ワイヤーメッシュについても補助の対象とし、補助率を40%から50%に拡充している。1事業に対して、補助金15万円を限度に設定している。

Q5 行政区域の改革を議会主導で行ってほしい。行政任せ、住民任せではいつまでたっても小集落は救えない。

議会回答

嘱託区の再編はコミュニティの維持と再生が目的である。85あった嘱託区が平成29年度、平成30年と再編され現在82嘱託区となっている。町としては最終的に52嘱託区にすることを目標にしている。議会としては、執行部と連携しながら再編を目指す嘱託区との意見交換や、各嘱託区の現状を把握し、町の支援をもとに将来を見据えた地区のあり方、再編の可能性及び再編後の運営方法について協議していきたい。

Q6 町民一丸となって復旧・復興に進むことはいいことですが、議会は町全体のことを考え、本来の役割である行政に対するチェック機能を十分に果たしていただきたい。

議会回答

町の計画として、御船町総合計画をベースに、御船町まち・ひと・しごと創生総合戦略がある。説明会では議員自ら質問し、議会の意見を取り入れたところである。また、復興計画に関しても進捗状況についてチェックしていくとともに、町民の代弁者として今後とも執行部に意見提供を行っていきたい。

Q7 災害の被害を受けて農業を辞めた人はいるのか。また、農業を辞めたとき役場に届出はするのか。

議会回答

災害により農業を辞めた詳細なデータはない。届出も必要ない。

執行部回答（農業振興課）

農業を辞めた場合、町への届出義務はない。

また、就農における届出の義務についてもないため、災害における離農者の戸数については把握していない。

Q8 9月に防災訓練をするという話を聞いたが、内容は。山間と平坦で対応、訓練内容は違うのか。

議会回答

具体的な提案はまだ議会にもあがっていない。先般の議会にて、今年の秋に防災行政無線を使った防災訓練を行う予定と答弁あり。

執行部回答（総務課）

町の防災訓練は、県の総合防災訓練に合わせて11月24日に行う予定。

町内全域に防災行政無線で避難を呼びかけることにしている。

訓練の内容については、各地域の実情に応じて計画していただければと考えている。

Q9 竹バイオマス裁判は町長選に影響があったのか。

議会回答

選挙の前月に判決がでたため、影響が出たと思われる。9月27日に高裁で判決予定。

Q10 議会開催の日にちなどは決まっているのか。

議会回答

議会の開会日は原則として月の第2木曜日。

Q11 嘱託区の再編によって一人の区長の世話をする範囲が広がる。昔は一人でやっていたができなくなったため今に至った。その経緯は知っているのか。

議会回答

昔の状況は知っている。再編をする上では各区の成り立ちを知った上で調整が必要である。再編をしなければ消滅していく。状況を把握して、行政と地元議員が協力しながら考えていく。

Q12 山間部には救急車も消防車も入れない道路がある。そんな中でコストコ予定地周辺の町道を作るために大きな予算が使われている。矛盾ではないか。

議会回答

個別な対応は難しい部分もあるが、そういった意見も行政に届けたい。

コストコの誘致は人口増加や雇用創出などが目的である。また、あの町道はコストコのためだけではない。交付金などを活用し、将来のための必要な出費であることをご理解いただきたい。

Q13 復興基金はどのように、どれくらい使われたのか。

議会回答

執行部に確認する。

執行部回答（企画財政課）

平成 29 年度に熊本県より復興基金創意工夫分が約 5 億 2,600 万円交付され、本町はこの復興基金創意工夫分を「復興基金」として積立てた。

復興基金の活用状況としては、

平成 29 年度に 2,020 万円、平成 30 年度に 9,810 万円を活用した。

特に、大きな事業としては、平成 30 年度に執行した木造仮設利活用事業（西木倉仮設・南木倉仮設・滝川仮設の用地購入費）に 7,786 万円を充当している。

なお、基金残高は、交付額から平成 29・30 年度の充当額を差し引き、平成 30 年度に発生した復興基金の利子 55 万 6,352 円を積立てた 4 億 819 万円となっている。

Q14 御船町で飲酒運転をした職員が出た場合、議会で処分を決めていいのではないかと。議会としての対応を伺いたい。

議会回答

役場の職員の処分は町長が決定する。当然、決定の際は議会に報告があるため、その時々で議会でも意見したい。

Q15 コストコを目当てに御船に来た人がコストコだけで帰らないよう議会としてどう考えているか。

議会回答

町内の観光施設を案内する看板をコストコにつけるなど、いろいろな案がでている。町民からもどんどんアイデアを出してほしい。

Q16 今日の議会報告会も防災無線等で告知しているにも関わらず参加者が少ないのではないかと。議会への関心が薄いのでは。議会の考えを聞きたい。

議会回答

議員としても残念だ。次回から、自分の支持者にも声をかけていきたいと思う。

Q17 御船川、メロディ橋周辺・上流の堤防の補強がされていない。国土交通省時代にもお願いしたが、管轄が町になったため再度お願いをしたい。

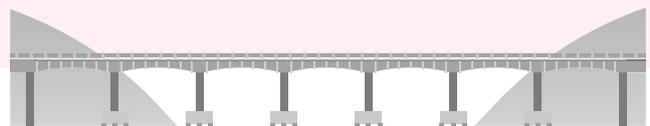
議会回答

執行部に伝える。

執行部回答（建設課）

町道今城中辺田見線（旧国道445号）は、河川敷を占用し道路として利用している。河川堤防の補強や維持管理は引き続き国土交通省所管となる。

河川整備計画における目標流量は確保されているものの、墓地の移転問題が未解決であるため、補強ができていない状況という国土交通省の見解である。



Q18 各委員会の委員長がかぶっている委員会がある。これだけ議員がいるのに、かぶるのはおかしいのでは。

議会回答

災害復興特別委員会と地方創生特別委員会は副議長が委員長になると決まっている。

Q19 町に小池高山インター近くの土地に関する開発計画はないのか？

議会回答

現状は農業振興地域になっている。

具体的な計画はまだない。

Q20 議員の再編は考えていないのか。
議員一丸となってやっていく気はあるのか。

議会回答

平成15年度は20名だったが、その後16名、14名と議員数を減らしてきた。目が届いていないのではという声も聞かすが、地元に限らず住民の声に耳を傾けていきたい。議員定数に関しては議会改革特別委員会で話し合っていきたい。議員一丸となって取り組んでいく。

Q21 議会報告会の回答はいつどこでみられるのか。

議会回答

詳細は執行部に確認をした上で、本日の回答と執行部への回答を各嘱託区区長へ渡している。議会広報誌にも掲載しているのでみていただきたい。

Q22 子育て支援センターの活用状況はいかがか。

議会回答

保護者が短時間子どもを預けて仕事をしたり病院に行くなど活用され、好評をいただいている。

Q23 御船の温泉を道の駅にしてはどうか。

議会回答

道の駅は、町と個人で協議ができればいいが、現時点では難しいのではと思う。

■ 議会報告会（上野保育園） B 班（参加者 40 人）



Q1 震災復旧事業で、未着手の工事が何件あって、金額がいくらになるか議会でも調べてほしい。復興計画の進捗状況はいかほどか。

議会回答

震災復旧事業については、一般質問も行っており、議会広報誌にも掲載する。

執行部回答（建設課）

平成28年熊本地震により被災した公共土木施設（道路、橋梁、河川）及び個人宅地擁壁等の災害復旧事業について、これまで3箇年で634件を発注して発注分の約85%に当たる538件の完成を達成している。（令和元年7月末時点）。

なお、令和元年度予算では新規発注工事で主に個人宅地擁壁復旧工事として87件の14億8,390万円となっている。

令和2年度末までに全て完成させるように進めていく。ご理解とご協力をお願いしたい。

Q2 人口移動について、5年、10年後がどう予想されるか調査をお願いしたい。

議会回答

人口については、今年の6月末で16,931人、2025年には16,168人、2030年には15,490人とのデータがでている。

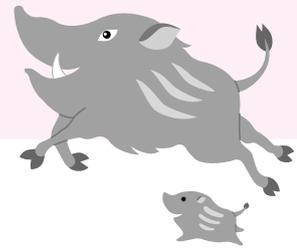
Q3 以前、鳥獣被害について議員に相談をしたところ、その後電柵の補助がついた。現在も鳥獣被害はでているので、議員の知恵を借りて、有効な対策を行っていただきたい。

議会回答

鳥獣被害については、一般質問も行っている。国では、害獣の頭数を2023年までに半分にする目標を掲げている。

町では、ワイヤーメッシュ柵を補助対象とした。

議会としても、現地を確認し、話を聞くようにする。



執行部回答

A班 Q4 (P4,5) と同様。

Q4 嘱託区再編について、町では区の希望により再編を進めているが、人口の少ない地域ではその議論すら出来ない状況である。議員は、その状況にある区に足を運び、確認してもらい、有効な解決策を提案していただきたい。

議会回答

嘱託区については、町として85区を52区に再編する予定である。(P5 A班 Q5を参照)

Q5 熊本地震の際、自主防災組織が、何地区でどのような活用がされたのか教えていただきたい。

これまでの内容を、議員にも把握していただき、今後の調査をお願いしたい。

議会回答

自主防災組織については、地震の際に活動されていたのは30地区程度。

昭和63年水害以来の災害だったため災害意識が足りなかったと感じている。今回の地震をきっかけに、自主防災組織において、意識を高めてもらい、町全体でも防災訓練や防災無線を活用した取り組みを進め、防災意識の向上を図る必要がある。

また、自主防災マニュアルも作成しており、出前講座のメニューもあることから、これらを活用していただきたい。

執行部回答（総務課）

自主防災組織の重要性は認識していたが、地震時は一気に増加した災害業務に追われ、自主防災組織の活動を把握しきれていないというのが実情である。

また、役場へ連絡や問合せがあっていたが、区からか自主防災組織からか、住民個人からの判断がつかないまま対応していたということもある。

今後、各地域における自主防災組織の把握はもちろん、その活用を図って参りたい。

Q6 古閑迫・古閑原に予定されている産業廃棄物処理場のその後の経過と今の状況を教えてください。

議会回答

現在の施設は、稼働期限が令和6年とされている。新しい施設は、総事業費約200億円の大規模な事業であるため、現在の計画では、令和11年までに施設工事の完了、令和12年には稼働の予定である。

Q7 先ほど嘱託区の再編の話があったが、嘱託区任せではなかなか再編は進まない。行政主導で再編を進めてほしい。

議会回答

嘱託区再編については、執行部と協議を行いながら検討していきたい。ご意見等がある場合は、地元議員にも相談をしていただきたい。

執行部回答（企画財政課）

今回の嘱託区再編は、地域コミュニティの維持・再生を目的に複数集落による連携強化を目指している。

行政主導による方法も一つだが、地域の運営は地域が決めることが一番の理想である。

行政は、嘱託区再編の協議をしたいと手をあげた区に関し、協議の場で事務局の支援を行っているところである。

嘱託区再編を区で進めたいということであれば、まずは、是非、区の総会などで議論していただきたい。

Q8 防災無線が室内にいと放送が聞こえない。このような状況は事前に想定されなかったのか。

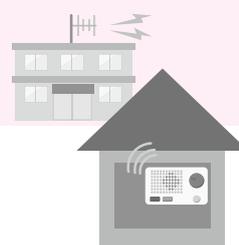
議会回答

議会においても同じ質問をしており、町に対し要望を行っている。

聞こえない状況はある程度想定されていたと思う。

防災無線の放送内容を、所定の回線（281-1721）に電話をかけると同じ内容を聞くことができる。また、戸別受信機の申し込みをしてもらう。さらに、メール登録をすれば、無線からの放送と同内容をメールで受信することができる。というようにいくつかの対策は用意してある。議会でもこの周知が徹底できていないと話題になったので、活用をしていただきたい。

この意見を持ち帰り、執行部に再度周知を促す。



執行部回答（総務課）

議会回答のとおり。

近年は、高気密・高断熱の住宅が多く、外からの音声が聞き取りにくいという状況は想定していた。

そのため、エリア（緊急速報）メールや防災メール、ホームページ、確認対応電話などの機能を充実させている。

また、避難行動要支援者に対して戸別受信機の設置をお願いしているところである。

Q9 議会報告会は毎年開催されているが、町からの報告会を開催する予定があるのか。

議会回答

議会からも町長へ開催を要望している。

町長にも今回の意見を伝える。

執行部回答（総務課）

時期を踏まえて検討していく。

Q10 他町の火葬場を使わせてもらっているが、10年を経過すると使えなくなると聞いた。そうであれば、早急に整備を進める必要があるのでは。

議会回答

熊本中央一般廃棄物処理施設整備促進協議会において検討していくことになっていたが、今のところ、現在と同様に、他町の火葬場を利用させていただく。
今後も提言を続けていきたい。

執行部回答（環境保全課）

御船町甲佐町衛生施設組合においては、火葬場の整備計画は予定していない。なお、宇城広域連合「寂静の里」の使用について、火葬連携協力の期間は、協定締結日の平成26年12月9日から平成37年（令和7年）3月31日までとされている。

現在、協定締結から5年目を迎え、協定期間延長に向け準備を進めているところである。協定期間の延長が締結できれば、現在使用している火葬場を引続き使用することができる。

Q11 熊本地震による農地災害復旧工事が行われているが、地権者の高齢化も進み、体力的、金銭的にも復旧後の心配がある。

県が進める創造的復興により、地権者の負担を軽減する補助事業はないか。

基盤整備事業等で条件の良い事業があれば、若手農業者も農地の管理がしやすくなると思うので、議員から知恵をいただきたい。

議会回答

議員間でも、補助制度について取り上げるが、議員としても、現在町が紹介している事業に留まっており、新しい事業を議会として紹介できない。今後も、町に対し、新しい事業の要望等は続けていく。

執行部にも良い補助事業がないか確認する。

執行部回答（農業振興課）

現在、負担軽減する制度はない。

基盤整備については、4地区が中山間地域総合整備事業による新規要望されており、令和2年度での採択を目指している。

Q12 田代東部小学校を有効利用することはできないか。

議会回答

田代東部小学校については、企業誘致に取り組んでおり、現在応募はないが、今後も誘致を続ける。

執行部回答（企画財政課）

田代東部小学校の利活用については、庁内関係課と協議しており、有効活用に向けた課題整理を実施中である。



Q13 高齢者の事故による免許返納が報道等であるが、田舎では厳しい状況である。また、バス停まで距離がある高齢者は不便であるので、高齢者の移動手段の確保を積極的に行っていただきたい

議会回答

自動運転の循環バス等も念頭に入れて検討してもらおうよう提案したこともある。

行政に頼るだけでなく、地域包括ケアの観点から自分たちで対応できる仕組みを考えていかなければいけない。

執行部回答（企画財政課）

他自治体で実施しているバスやタクシー利用券の配布も一つの有効手段であると思うが、それぞれに課題がある。

バス利用券は自宅からバス停までの距離があるところには向いていない。タクシー利用券は、中山間地から市街地までの距離が遠いため、仮に山都町にならい24,000円の補助を実施しても場所によっては、数回程度しか利用できない地区もある。

他にも事例があると思われるが、これらの施策を検討し、総合的に最少の経費で最大の効果が見込める方法を検討する。

Q14 七滝中央小学校が複式学級になる恐れがある中、中山間地の人口増加に対応するための予算が組まれているかどうか。

議会回答

6月議会の補正予算の中で、移住定住対策の予算が組まれていたが、中山間地に特化した予算はなかった。ホームページ上での充実を図られているが、空き家バンクの登録も1件しかない状況であるので、空き家の情報を提供いただきたい。

執行部回答（企画財政課）

中山間地における予算としては、地域おこし協力隊関係の予算を計上している。

地域おこし協力隊は、大都市圏から御船町に移住する人と地域での活動を合わせた制度で、御船町の中山間地に居住している協力隊は、現在5人いる。

町が設定した活動のほかにも地域での活動に期待している。

Q15 コストコ進出に伴う進捗状況はどうなっているか。また、コストコ進出に伴う予算が5億7千万円程度と聞いているが、それ以上になるとも聞く。実際いくら予算がかかるのか。

議会回答

6月の補正予算で5億7千万円程度が計上されており、議員からも質問が多数なされている。これはコストコ進出にかかるものだけではなく、地方創生道整備事業において、町内3つのIC周辺の道路整備を行うものであり、今回は優先的に進出予定地である御船IC周辺の整備を行う。その後、中山間地へ向かう広域農道等や上野吉無田IC周辺の整備を行うことで、3つのICを一体的に整備することで、地域の創生を図るものとの答弁がされている。

執行部回答（企画財政課）

コストコに関連する予算は、現時点で約13億2千万円となる。この内、道路整備が約10億5千万円、上下水道整備が約2億円、都市計画関連が約6千万円となる。大半が道路整備となるが、インターチェンジ周辺の産業集積を目的とした地方創生事業の位置づけで、コストコの誘致のみを目標としたものではない。

Q16 空き家バンクの話があったが、空き家調査は完全に終了しているのか。そういった点を執行部にお尋ねいただきたい。

議会回答

執行部に確認する。



執行部回答（企画財政課）

平成 30 年度の事業として、町内全家屋の外観調査をし、空き家の特定を行った。

不動産業者が管理する物件を除く、町内の空き家と思われる物件は 214 件あり、その内、手をかけずにそのまま利用可能な空き家は 9 件、若干の改修にて利用可能な空き家は 60 件、居住するには大幅な改修が必要な空き家は 85 件、家屋に傾きがあり倒壊の危険がある空き家は 54 件となっている。

Q17 コストコの進出は賛成であるが、進出にかかる予算が膨らんでしまうのではないかと心配している。

進出に伴う雇用も期待されるので、移住定住対策を十分に行えるよう、議会からもアイデアをだしてもらい、執行部へ提言していただきたい。

議会回答

企業誘致と同時に、移住定住および雇用に関して執行部へ提言を行っている。今後も提言を続けていく。

Q18 都市計画の見直し状況はどうなっているのか。

都市計画見直しに伴う説明会に参加したが、御船 IC 周辺のみでの説明しかなかった。小池高山 IC 周辺も含めた一体的な見直し等について執行部と十分な議論を行っていただきたい。

議会回答

御船 IC 周辺の 11 ha を中心に行っている。

今後も、計画の見直しについて議論を行っていく。

執行部回答（建設課）

御船町都市計画マスタープラン改定については、平成 30 年 8 月にコンサルタントと委託締結し、業務計画に基づいた作業を進めており、住民へのアンケート調査、御船町の現

況把握、課題整理等を終えたところである。

御船町都市計画マスタープランは、総合計画と整合性をとる必要があるため、同時進行で改定作業を進めている企画財政課とも適宜情報交換を行っている。

現在までに、庁内検討委員会を2回、庁外検討委員会（都市計画マスタープラン改定検討委員会）を1回開催しており、事務局で作成した改定案に対していただいた意見をどこまで取り入れるか、検討している状況である。

同時進行で、県が定める御船都市区域マスタープランも改定作業が行われており、町検討委員会にも県土木部からオブザーバーとしてご参加いただき、町都市計画マスタープランと区域マスタープランで足並みが揃えられるよう動いていただいている。

現在のスケジュールでは、10月に都市計画区域内の地区別懇談会を開催する予定であり、その後、庁内検討委員会、庁外検討委員会を各2回開催予定している。令和2年3月までに作業を完了したいと考えている。

Q19 鹿児島県伊仙町の人口減少対策を参考に、若い世代が入りやすい住宅の提供等を行い、人口減少に務めてもらうよう、議会からも執行部へ提言を行っていただきたい。

議会回答

以前、伊仙町を視察し、とても参考になった。

今後、学力日本一の村の教育長の講演を行いたいと思っている。ぜひ、この講演を聴いていただき中山間地の活性化につなげてほしい。

Q20 区長をしていた時に、立会い等で初めて会う役場職員を覚えるのが大変だったため、役場職員に名刺を渡すように指導してほしい。

議会回答

執行部に伝える。

執行部回答（総務課）

立会い等で初めて会う時には、名刺を渡すように指導する。

Q21 マミコウロードから木が垂れ下がっているのを切ってほしい。

議会回答

執行部に伝える。

執行部回答（農業振興課）

職員において対応可能なものについては、随時伐採を行っている。

対応不可なものについては、今後予算要求を行い、通行に支障となる樹木についての伐採を検討している。

Q22 牧の原のトンネルの先に恐竜の絵が描いてあるが、草木に覆われて見えない。せっかくなので見えるようにしてほしい。

議会回答

執行部に伝える。



執行部回答（農業振興課）

令和元年8月にトンネルの両側の伐採を行い、現在は恐竜の絵は見える状況となっている。

アンケート集計結果

■ 参加者(人)

役場第二分庁舎	31
上野保育園	40
合計	71

■ アンケート回答者(人)

役場第二分庁舎	27
上野保育園	23
合計	50

■ アンケート回収率 (%)

役場第二分庁舎	87.1
上野保育園	57.5
合計	70.4

■ 男女別(人)

男	46
女	2
未回答	2
合計	50

■ 年代別

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	未回答	合計
0	0	0	5	3	24	16	2	0	50

■ 旧校区別

御船	滝尾	水越	七滝	上野	田代東部	田代西部	木倉	高木	小坂	仮設住宅	その他	未回答	合計
6	3	2	3	11	9	2	6	4	4	0	0	0	50

■ 開催曜日

適当	40
適当でない	8
未回答	2
合計	50

■ 開催時刻

適当	39
適当でない	9
未回答	2
合計	50

■ 開催場所

適当	44
適当でない	5
未回答	1
合計	50

たくさんのご意見ありがとうございました！

かがやく



がんと戦う！

一昨年、私は一生の不覚として、胃がんを患ってしまいました。それまで、毎年検診を受けていたが、受診の結果は最悪で、悪性がんでした。即、胃カメラ撮影を試みると、胃壁が破れる寸前まで進行しておりました。自覚症状は全く無く、ステージ4のレベルにて早急の全摘出手術を強いられ、年明け早々に入院した次第です。手術前には、体内に転移の疑いも宣告され、最悪の状態です。手術した訳ですが、それまで、自覚症状もなく、悔やまれてなりません。思い当たることは多々あり、遺伝性ストレス、ピロリ菌、食生活等。今となっては…。



秋只 福富 壽さん

その後、抗がん剤治療生活を強いられ、約一年半後の今日、転移の発覚から強抗がん剤治療にて、最近では脱毛状態も始まりました。今後、治療に専念して、再起を目指す毎日です。皆さんも早めの検診をされ、日々の健康には十分留意されることを経験者として喚起してやみません。今年選挙の年で、議員各位におかれては、ベテラン議員の引退と新人5名の当選により、町議会とスタートをされた訳ですが、池田議長のもと、全員一丸となって町政発展のため、奮起されることを期待し、熱きエールを送りたいと思います。

議会の予定 10月

- 1日 議員研修会 (県議長会主催)
- 4日 産業厚生常任委員会
全員協議会
- 9日 富山県朝日町議会
視察受入
- 10日 議会(予定)
- 17~18日 御船地区衛生施設組合
先進地視察研修

ぜひ議会傍聴にお越しください



議会 HP はコチラ

編集後記

今回も議会広報あおぞら21をご覧くださいます。毎月発行している議会は、全国的にも少なく、私達は議会事務局と連携し作成しています。表紙の写真は、内容は、カット写真は、文章構成は、などレイアウトしてはこれで良いか何回もチェックを重ね毎月のことであり時間との戦いもあり、お互いに意見を出し合い完成を目指します。

新人議員の私は、広報誌作成がこれほど大変な作業であったのかと驚いています。町民の方々に議会活動へのご理解をいただく大変なことであることを認識しながら取り組んでい

ます。完璧な広報誌ではありませんが、町民の方々と議会の架け橋となり、議会活動へのご理解とご支援をいただくためにこれからの懸命に取り組んでまいりますのでどうぞよろしくお願ひします。

田上 英司

議会広報編集特別委員会

- 発行責任者 | 池田 浩二
- 委員長 | 井藤はづき
- 副委員長 | 田上 忍
- 委員 | 藤川 博和
- 委員 | 福永 啓
- 委員 | 森田 優二
- 委員 | 田上 英司